

第18号

Super  
Highway



JR東労組ホームページ

発行日  
2020. 1. 9

JR東労組バス関東本部

バス関申  
第3号

関東鉄道株式会社への出向に関する緊急申し入れについて  
1月7日に団体交渉を行う！④

## 6. 実施以降については、出向者の意見や職場の実態を把握し、検証議論を行うこと。

- (会社) 出向中においても、定期的に出向者同士の意見交換会を開催する等により、出向先での課題等を抽出して必要な場合は出向先との調整を図っていく。
- (組合) 議論して来たとおり、会社とも認識を一致してきた。本人からの意見等を聞き、労使で議論出来ることはしていきたい。今後、どう展開していくのかも含めて重要なスタートとなる。情報交換していきたい。
- (会社) 了解。

## 7. 今出向に伴う、支店間の要員配置（系統）の考えについて明らかにすること。

- (組合) 今回5名出向するが、土浦支店の業務量調整は行うのか。
- (会社) コロナ禍による業務量調整との区別は出来ないが、2/1の出向を前提にドリームを返すなど業務量調整は12月から先行して行っている。
- (組合) 車両整備の業務量調整、出向を行う考えはあるのか。
- (会社) 土浦を指定工場として部品センターを開設し、車両整備の業務量は増えている。出向については以前、メーカーへの出向の構想があったが、現時点ではない。

## 8. 地域バス事業者と連携し、共同運行路線の受託等で業務量の確保と収益確保をめざすこと。

- (会社) 今後も、当社が立地する地域の他バス会社及び共同運行会社、ならびに地方自治体等との連携強化を図り、地域のニーズに合う交通体系の構築に寄与しつつ、収益性の向上を図っていく。
- (組合) 出向ではなく受託して業務量を確保し、収益を確保するべきとの意見もある。
- (会社) 当社の一般線は地方支店が多い。都内にはバスが多いので都内一般線もあり得ると考える。地方自治体のコミュニティーバスなど受託していくなどして地域との連携を図りたい。

### 組合

関東鉄道の議論に留まるだけではなく、この先どのような展望を我々として生み出すか議論した。スタートの時期なので、しっかり労働条件も確定させて、本人たちが安心して担えるようにしていただきたい。今日の議論を互いに認識し、今後は検証していく必要がある。

### 会社

会社としても非常に期待している。初めてのことなので不安がないようにしたい。5名に不便を掛けているのは事実であり、親切・丁寧で説明していきたい。5名のモチベーションを下げることがないようにしていきたい。全力で支援することは約束出来る。開始以降も検証し必要があれば労使で議論したい。

組合員が働きがいを持てる環境をつくるために職場から議論づくり出そう！